

全体の取組を
振り返って

全体の取組を振り返って

今年度、学校全体で授業づくりの3つの観点（ア 単元活動の進め方 イ 場の設定や教材・教具の工夫 ウ 教師のかかわり方）を取り上げたことで、授業における支援上の観点がはっきりし、支援の方法を整理することができた。

各学部でPDCAプランを実施し、その都度、記録や時間を作って話し合いなどを行い、授業を評価し改善を行った。日々の授業を実践し、改善していくことで一人一人のかがやく姿が随所に見られた1年であった。よりよい授業の話し合いや評価、改善等を行う時間をどのように確保していくかは今後の課題となった。

各学部毎に研究授業を計画し、全職員で授業参観後、授業研究会を実施した。質疑応答、意見交換等を含め、授業づくりの3つの観点を柱として協議を深め、その後の授業づくりに大いに役立てることができた。しかし、質疑応答が多くなり、協議まで行かなかったこともあったため、今後、研究会の持ち方等も工夫が必要である。内容としては事例対象の児童生徒を挙げたことで、学部や学校全体で具体的な支援方法を検討することができた。

研究授業の参観体制は、参観者も担当の授業をしながら参観に行かなければならないため、子どもたちが活動している様子や補助具等の実物や映像等を準備し、参観者に授業をわかりやすく伝える工夫を行った。参観体制をどのように設定するかは今後も課題である。

個別の教育支援計画や指導計画に関しては、作成にしっかり取り組んだことで、子どもの実態やニーズの把握でき、一人一人に応じた支援ができるようになった。今後も計画をもとに全職員で共通理解を図りながら効果的な教育を行うためには、様々な教育計画の有効な活用法が課題であり、現在、個別の教育支援計画、の形式見直しを行い、次年度への引き継ぎとして動き始めたところである。

また、今年度は研究発表会とその事前に熊本県教育庁高校教育課課長補佐 高橋次郎先生、指導主事 藤田泰資先生、前菊池養護学校校長 岡野満先生を迎え、授業の指導助言をいただく機会を得ることができた。職員一同大変刺激を受け、一人一人が真剣に授業について考えた実りある授業研究会になり、その後の授業づくりに大いに生かすことができた。さらに、研究発表会当日には立命館大学教授 朝野浩先生をお招きし、「一人一人のニーズに応じた支援を行なう特別支援教育とは」と題し、ご講演をいただき、京都で進められている総合支援学校の実際とこれからの特別支援教育の在り方を拝聴することができた。

研修に関しては他校の研究発表会や公開授業研究会に積極的に参加し、朝会を利用して報告を行った。情報を共有し、職員の専門性の向上を図ることができた。

校内では、今年度特に視覚的に有効なICTを取り上げ研修を行った。誰もができる画像編集や映像処理等の研修を計画的に行い、充実した研修となった。このことはこれまであまりICTを積極的に活用できなかった教師が実践に参加でき、教材として活用できるようになるなど教師の自信につながった。

お わ り に

本校は平成19年度県教育委員会の指定を受け、「特別支援教育のセンター的機能の充実に関する研究」について研究実践を行いました。本年度はこの研究の成果を活かし、かがやく子どもの姿を求めた授業づくりにポイントを絞り、研究テーマを「一人一人がかがやく授業づくり」とし、研究発表会を実施いたしました。年度当初「かがやく子どもの姿とは」ということで全職員で検討した結果、「あふれる笑顔」、「主体的に取り組む」、「友達と仲良く」をかがやく姿と捉え、各学部で発達段階に応じたかがやく姿を設定し、その姿を目指して実践に取り組みました。

各学部のテーマとそれぞれの求めるかがやく子どもの姿は以下のとおりです。

小学部・・・かがやく子どもの姿

笑顔いっぱい楽しむ　なんでもチャレンジしながら、自分で取り組む
友達と仲良く

研究テーマ

一人一人のニーズを大切にした支援を求めて

中学部・・・かがやく子どもの姿

楽しく活動に取り組む　持てる力を精一杯発揮し主体的に取り組む
友達と力を合わせて取り組む

研究テーマ

個性を大切にした支援体制の確立

高等部・・・かがやく子どもの姿

元気いっぱい活動に取り組む　できた！～したいと主体的に取り組む
力を合わせて協力する

研究テーマ

生徒一人一人のニーズに応じたよりよい支援の在り方を求めて

ここに、本校の教育実践の一端をまとめまして研究紀要第33号「南風」を刊行いたしました。本年度も各テーマ毎の教育活動を行うために、多くの関係者の皆様から多岐にわたるご指導とご支援をいただきました。ご高覧いただきますとともに、ご意見やご助言を賜り、今後の本校教育の充実発展のためにご示唆いただければ幸甚に存じます。

平成21年3月吉日

熊本県立天草養護学校 教頭 山下 照喜